

# 「多彩な地域と人が織りなす 輝くまち 足利」 を目指して

足利市は、北部は足尾山地に連なる緑の山々、南部は関東平野に広がる豊かな田園、そして市街地中心部は渡良瀬川の清流など、美しい自然に恵まれたまちです。

また、日本最古の学校といわれる日本遺産「史跡足利学校」のほか、本堂が国宝に指定された足利氏ゆかりの「鏝阿寺」など、歴史と文化の香りに満ちたまちでもあります。

これまで、まちづくりにあたっては、道路、公園、上下水道をはじめとした都市基盤の整備、土地区画整理事業等による健全な市街地の形成に努めてまいりましたが、近年では、全国的な趨勢である人口減少や少子高齢化に加え、異常気象に伴う大規模災害の対策、増加の一途にある空き家の対応、老朽化した公共施設等のマネジメントなど、新たな課題が顕在化しています。

このことから、今後、まちづくりのあり方を検証しながら、より効率的かつ効果的な視点に立った都市基盤の整備はもとより、誰もが安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり、本市固有の資源を磨き上げた魅力にあふれるまちづくりなどを推進することが必要です。

更に、多様な課題に対応していくためには、「まちづくりの主役は市民である」との基本に立ちながら、市民と行政が適切な役割分担のもと、市民力・地域力を最大限に発揮したまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

そこで、将来を見据えたまちづくりの指針として、また、市民と行政が共有するまちづくりの目標として、今回、足利市都市計画マスタープランの改訂を行いました。

今後、本計画に基づいた都市計画を体系的かつ計画的に推進しながら、第7次足利市総合計画の将来都市像である「学びあいつながりあい 元気に輝く都市 足利」の実現を目指すとともに、市制施行100周年に向け、元気に輝くまちづくりに取り組んでいきます。

おわりに、本計画の策定にあたり、さまざまな分野の代表からなる市民検討委員会の皆様をはじめ、多くの市民、市議会、並びに関係諸団体の皆様から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことを心からお礼申し上げます。



平成30年3月

足利市長 和泉 聡